

相光電子 株式会社

検査装置などを設計から 据付までトータルで提供

海外
発注可
納期
相談
企画力
自信有
コスト
相談
メイドイン
ジャパン



深層学習画像検出

主な事業内容

生産ラインにおける検査装置
およびFA設備の製造・販売など

主な取引先(納入先)

家電、自動車部品、光学機器、
食品などのメーカー

主な製品

画像外観検査装置、
深層学習画像検出、その他

業務 内容

得意分野はカメラを 使う画像処理装置

相光電子はFA生産設備および検査装置のメーカー。検査装置が売上の7〜8割を占める主力製品であり、特にカメラを使用した画像処理装置を得意としている。液晶プロジェクト貼り合わせ装置などの生産設備でも、大手電機メーカー向けを中心に、納入実績がある。

創業は昭和48年。電気製品の設計技師を務めていた金丸英世氏（金丸聖・現社長の父）らが、メーカーから独立するかたちで立ち上げた。大阪府守口市に本拠を構えたのは、得意先となる電機メーカーが集積する場所だったからだ。「相光電子」という社名には、得意先とWIN-WINの関係築きたいとの願いが込められている。

強み ニーズに対応し 得意先と強固な関係築く

同社の強みは、社名に込められた意味が表す通り、得意先と強固な関係を築いていることである。得意先回りは金丸社長に技術者が同行し、省人化・生産性の向上など、設備に関する悩み・課題を聞いて解決策を提案するというスタイル。

検査装置などの設計から製作・据付まで、「ソフトウェアとエレクトロニクス、メカトロニクスを、トータルで引き受けられます」と、金丸社長は強調する。

定評のある画像処理装置の開発では、2010年代半ば以降、話題となっている深層学習の利用にも対応する。人では判定が難しい、高度な非線形領域での判定で効果を発揮する。ただし「人命に関わり、不良品が許されない自動車部品などの検査では、従来方式の画像処理によるOK・NG判定が適切」とし、得意先のニーズに応じて柔軟に対応するところにも同社の強みがある。

顧客 満足 高い評価 困りごとの解決で

得意先の困りごとの解決法を、できるだけ多くしておきたいという金丸社長。「得意先の困りごとを聞いてわが社は生きている」と、社員に呼び掛けている。こうした姿勢が評価され、得意先からは「感謝状」「品質優良賞」などの形で、高い評価を得ている。現在はEV（電気自動車）などの自動車関連のほか、食品関連業界向けが好調。創業以来の得意分野である電機メーカー向けも、中国などの海外需要に復調の兆しが見えつつある。

社長あいさつ



代表取締役
金丸 聖さん

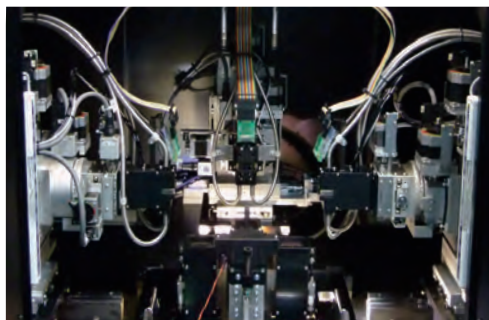
私たちのモットーは、「誠意をもってお客様とお客様の悩みに向かい合う」です。ばか正直と言われるくらい真面目にお客様の課題解決に取り組み、生産工程や品質保証現場の生産性向上、様々なワーカー様の作業の無駄の削減に貢献してまいります。

主な保有設備

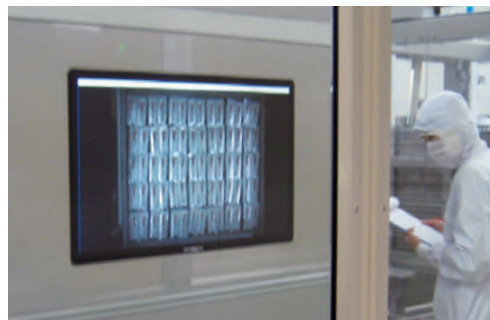
- EDA
Altium Designer Winter 09
Altium製 1台
- 2DMCAD
Autodesk AutoCAD 2019
Autodesk製 2台
- 3DMCAD
Autodesk Inventor 2019
Autodesk製 2台
- 深層学習専用コンピュータ
DEEP-TXAB-XW21-XADX
ユニットコム製 2台

大阪
04

住 所／〒570-0043
守口市
南寺方東通5-22-10
T E L／06-6996-3626
F A X／06-6996-3687
創 業／昭和48年10月
設 立／昭和48年10月
資本金／5,000万円
従業員／8名



液晶プロジェクタ貼り合わせ装置



深層学習画像検出



<https://sokoelec.co.jp/>